

## 生研ニュース

## ☆講 演☆

- ◇助教授 山口楠雄「工程管理の自動化に関する二三の手法」電気通信学会オートマトンと自動制御研究会 国際電々KK・研究所において (1963.9.27)
- ◇講師 北川英夫「腐食・ふん囲気・欠陥と疲れ強さ」日本工業経済連盟疲れ破壊を考慮した設計法講座 全ラ連会館において (1963.11.28)
- ◇助教授 武藤義一「吸光光度分析(キレート試薬)」東大機器分析公開講座 東京大学工学部において (1963.12.2)
- ◇教授 浅原照三「オリゴマーの化学」プラスチック染色研究会 名古屋市立工業研究所講堂において (1963.12.4)
- ◇教授 尾上守夫「板波探傷法の基礎」日本非破壊検査協会、薄板・薄肉管および線の新しい超音波探傷法講習会 明治大学において (1963.12.5)
- ◇教授 浅原照三「石油化学とアセチレン化学の関連性について」工業研究会 屋久島電工KKにおいて (1963.12.7)
- ◇助教授 早野茂夫「ポーラログラフ分析」東大機器分析公開講座 東京大学工学部において (1963.12.9)
- ◇教授 菊池真一は、日本写真学会月例講演会において 1963年9月23日～28日イタリー・トリノ市で行なわれた「国際化学写真シンポジウム」の講演内容を紹介した (1963.12.19)
- ◇助教授 山口楠雄「工程管理の自動化」アナログ技術研究会 日本科学技術研究所において (1963.12.21)
- ◇教授 大井光四郎「半導体ひずみ計」応力測定講習会 大阪市立工業奨励館において (1964.2.14)

## ☆写真測量に関する講演会☆

日本写真測量学会では、本所丸安研究室が中心になってその研究例会を行なっているが、第10回例会を1月18日本所第一会議室で午後1時30分より行ない、午後5時30分終了した。参加者は約70名であった。

講演は最近海外にその状況をつぶさに見てこられた3氏の報告がその内容であった。

## (1) ドイツにおける写真測量現況の近聞

カールツァイス社 戸辺厚滋氏  
ドイツ・オランダの諸国で日本の写真測量の実力が非常に高く評価されていることを力説された。

## (2) ソ連の空中写真による森林調査について

林野庁 渡辺定元氏  
国連FAOの主催で行なわれた航空写真による森林調査の講習会に出席され、ソ連の実情をつぶさに見て来た氏に、従来よく知られなかったソ連の様子をきい

た。特に写真の使用状況について新しい話が多かった。  
(3) 最近の新しい写真像の評価法について

国土地理院 平井 雄氏

同氏は約1年間オランダにあるI.T.C.に研鑽をつまれて帰国したが、その間同氏が考えていた写真像の新しい評価の方法について解説し、その討議が行なわれた。

## ☆寄 稿☆

- ◇助教授 早野茂夫「有機過酸化物のポーラログラフ」油化学 12, 605~612 (1963.11)
- ◇助手 妹尾学「イオン交換膜—溶液系の異常電導現象」表面 1, 3, 45 (1963.12)
- ◇教授 福田義民・助教授 河添邦太郎 ほか2名「カーボンブラックの真比重」工化誌 66, 12, 1757~1759 (1963.12)
- ◇教授 福田義民・助教授 河添邦太郎 ほか2名「熱天秤によるカーボンブラックの揮発分と着火温度の測定」工化誌 66, 12, 1760~1764 (1963.12)
- ◇教授 高橋武雄「今日の分析化学」化学工業資料 31 241 (1963.12)
- ◇教授 高橋武雄「序文」ガスクロマトグラフィー第5集 化学の領域増刊 58 (1963.12)
- ◇助教授 後藤信行・教授 永井芳男「4-クロロナフタルイミド—N-アルキルならびにN-アリアル誘導体の合成とそのベンゾアントロンとの縮合」工化誌 67, 1, 152~155 (1964.1)
- ◇助教授 後藤信行「染料化学工業について」(工業化学雑誌シンポジウム) 化学と工業 17, 1, 96~101 (1964.1)

## ☆研究成果の工業化☆

◇第1部 久保田広教授の薄膜光学の干渉色の研究を応用した「多層薄膜光学製品の製造」は、新事業開発公団の投資対象として採用され、一昨年より日本真空光学KKで開発中のところ、1963年12月6日開発に成功した。つまり工業化が認定されたので、いよいよ工業化の軌道に乗った。

## ☆人事異動☆

- ◇第2部 大島康次郎助教授は、教授に昇任した (1963.12.1)
- ◇第2部 石原智男助教授は、教授に昇任した (1963.12.1)
- ◇第1部 北川英夫講師は、助教授に昇任した (1964.1.1)
- ◇第1部 伯野元彦助手(特別研究員)は、講師に昇任した (1964.1.16)

☆学位取得☆

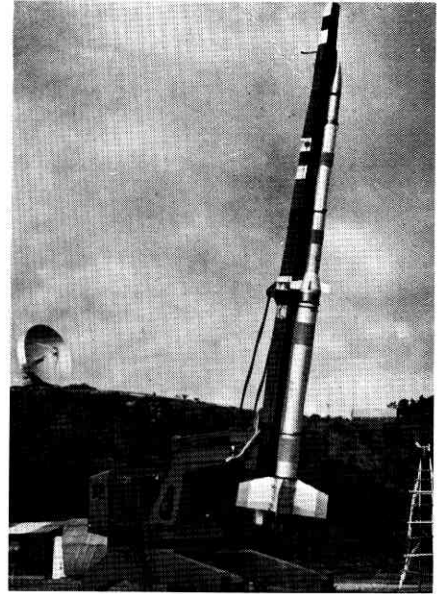
◇第4部 中村亦夫助教授は「でんぶんの加水分解についての研究」によって、東京大学から工学博士の学位を授与された (1964.1.13)

◇第4部 早野茂夫助教授は「油脂領域における物理化学的方法の応用」によって、東京大学から工学博士の学位を授与された (1964.1.31)

☆ラムダ・ロケットの第2回実験☆

L-2型2号機は、昭和38年12月11日、鹿児島宇宙空間観測所で実験が行なわれた。この実験では、飛しょうテストとあわせて、雑音電波・電波伝播・宇宙線・地磁気・電離層の観測も行なわれ、最高高度410kmを記録した。

また、K-8L-2号機は、翌12日飛しょうし、超高層の風の観測を行なったが、小型ロケットRT-150-2号機は都合で次回まわしとなった。



L-2型2号機

なお、池田総理大臣および瀧尾文部大臣から、それぞれ本学総長に対し、ラムダ・ロケットの実験成功に対する祝電が寄せられた。

生研ニュース

筆者紹介

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ◇石井 聖光 助教授 工博 専攻 建築環境学 | 熱構造力学                  |
| ◇平野 興彦 技官 専攻 同上        | ◇西川 精一 助教授 工博 専攻 金属材料学 |
| ◇勝田 高司 教授 工博 専攻 建築環境学  | ◇長田 和雄 助手 専攻 同上        |
| ◇後藤 滋 研究員 工博 専攻 同上     | ◇小林 繁美 技官 専攻 同上        |
| ◇寺沢 達二 助手 専攻 同上        | ◇板本 守正 大学院学生 専攻 建築環境学  |
| ◇川井 忠彦 助教授 工博 専攻 溶接工学・ |                        |

出版委員	委員	大島康次郎	委員	西川 精一	専門委員	星野 昌一
出版委員長 星 埜 和		川井 忠彦		野崎 弘		菊池 真一
委員 小瀬 輝次		山口 楠雄		小林 一輔		森 大吉郎
玉木 章夫		野村 民也		*勝田 高司	編集室	下村 潤二郎
水町 長生		*武藤 義一				水野 晴明

\*印当番委員

第16巻 第2号

生産研究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1964年2月1日発行

頒価140円

編集者 星 埜 和  
 発行者 藤 高 周 平

印刷所 三美印刷株式会社  
 東京都荒川区日暮里町8-93  
 発行所 財団法人 生産技術研究奨励会  
 東京都港区麻布新電七町10  
 電話 (402) 1 3 3 1  
 振替口座 東京 108697 香